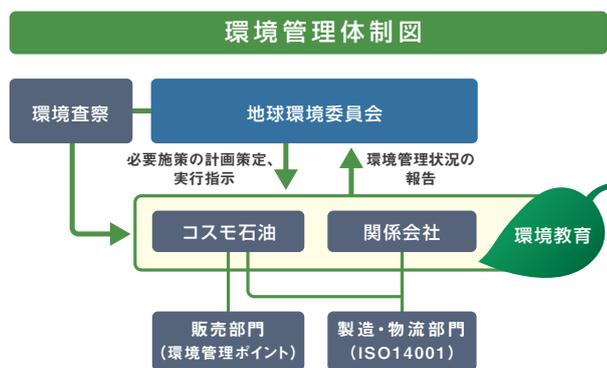


環境管理体制

コスモ石油グループは、独自の環境管理体制により、エネルギー企業の重要な責務である、環境対応を行っています。

環境管理体制

コスモ石油グループは、独自の環境管理体制を構築しています。部門横断的な組織「地球環境委員会」が、連結中期環境計画の立案・実績報告・評価などを行い、各事業部門にフィードバックする仕組みです。地球環境委員会は、審議の結果をCSR推進委員会に報告することにより、PDCAのサイクルを効果的に回しています。また、社員の意識向上のための環境教育を継続し、環境の取り組みが経営から現場まで共有化できる仕組みを採用しています。また、事業所ごとに「環境査察」を行い、現場での環境管理の徹底も図っています。



環境査察

地球環境委員会は、現業部門および現業部門を統括する本社の部署に対し、定期的に環境査察を行い、環境管理状況を確認するとともに、必要に応じて改善勧告・提言を行っています。環境査察の結果は、CSR推進委員会へ報告されます。

2007年度は2007年10月～2008年2月の間に環境査察を実施しました。査察では、主に、製造装置の運転開始・停止など、定常とは異なる作業における環境管理や環境負荷削減につい

◆ 2007年度環境査察実施事業所／会社

コスモ石油	千葉製油所
	四日市製油所
	堺製油所
	坂出製油所
	中央研究所
	小売販売部
	物流管理部
	事業開発部
関係会社	コスモ松山石油
	コスモエンジニアリング
	コスモ石油ブリカンツ
	コスモ石油ガス

て議論しました。また、現場において実務内容の聞き取り調査、資料調査を行うことにより、日常の環境管理状況を監査するとともに、連結中期環境計画の進捗状況について確認しました。その結果、各事業所および関係会社は、適切に環境管理を実施していることを確認しました。

なお、2007年度には刑罰、行政罰、行政指導を伴う環境に関する法令違反の事実はありませんでした。

社員の環境教育

環境管理を機能させるためには、社員に、コスモ石油グループが取り組む環境活動の背景や意味を、正しく理解してもらうことが必要であると考えています。コスモ石油グループでは、キャリアを積み重ねていく過程で、それぞれのステージごとに受講する階層別研修の中で、環境教育の枠を設けています。また、製油所では、生産現場で導入しているISO研修を行っています。

ISO14001 認証取得の推進とSSでの取り組み

コスモ石油グループでは環境負荷の大きい事業所を中心に、ISO14001認証取得を推進しています。これまでに4製油所を含む10事業所で認証を取得しました。事業所では、連結中期環境計画を事業所の環境目標に組み込むことにより、計画の推進に努めています。また、定期的に内部監査を実施しているほか、審査登録機関による外部審査も実施し、PDCAが回っていることなど、システムが確実に機能していることを確認しています。

SSでは、全SSを対象に環境管理ポイント(EMポイント)調査を年2回実施しています。施設点検、産業廃棄物対策など管理状況を調査し、改善を図っています。

◆ ISO 認証取得事業所

事業所名	取得
坂出製油所	1997年 6月
千葉製油所	1998年 3月
四日市製油所	1998年 3月
堺製油所	1998年 3月
コスモ松山石油	1998年 12月
コスモ石油ブリカンツ 下津工場	2003年 6月
コスモ海運	2003年 8月
コスモ石油ブリカンツ 大阪工場	2003年 10月
四日市エルピージー基地	2006年 9月
中央研究所	2006年 12月